

## 「落語体験学習」 in 保津小

今回は、2学期から本格的に始まった「落語体験学習」の稽古風景を紹介します。

### 第3回 落語体験学習 9月10日(月)

今回は、発表会で演じる「道具屋」と「動物園」の場面分けや役割分担について打ち合わせをしました。

「落語だけやのうて、小咄やうどんを食べる仕草もしてもらいましょう。」  
「うどんのどんぶりは、少し深いのでね、指を広げて持って、音を出してね。」  
「ずずずずうーっ！」

その後、自分が演じてみたい場面に挑戦しました。さあ、誰がどの場面を演じるのでしょうか。楽しみです！



### 第4回 落語体験学習 10月2日(火)

いよいよ、発表会に向けてのお稽古が始まりました。今回は、一人一人が高座に上がって、師匠と一対一でお稽古をしました。

「扇子は、手めぐいと一緒に右手に持って。」

「そうそう、要の方を握って前に置く。」

「喜六は上手を向いて、池田はんは下手を向いて。」

落語は、顔の向きを変えて二人の会話を演じ分けます。師匠は、一人一人に、繰り返し丁寧に教えてくださいます。

「仕草は、大きく。」

「トラの動きは手足の動きと、顔の向きを反対にして。」

「顔をぐうっと伸ばして。うまいね！」

師匠は、必ず、児童を褒めてくださいます。実際のお弟子さんには、厳しいそうですが・・・

はじめは、恥ずかしさから、小さな声になったり、声が震えたりしましたが、だんだん声に張りが出てきました。

